〝イイタイコト〟をつかまえて

もしも君が、ほんとうに現代文の実力をつけたいなら、まず、キーワードはどこにあるかとか、チャチな選択肢の見分け方とか、今までの読書体験はどんなだったかとか、そういった《国語入試問題必勝法》式のくだらないことから聞きたがるかもしれないけど、実をいうと僕は、そんなことはしゃべりたくない。第一、そういったことは僕には退屈だし、第二に、現代文というのは、フィーリングや法則や知識や経験から話そうとするのなら、めいめいの設問に二回ぐらいずつ脳溢血を起こしかねない科目なんだ。そんなことですぐに頭に来てこの科目を嫌いになっちゃうんだよね。いい科目ではあるんだけど。だから、そういうことをやるつもりはない。それに、僕は何も、〝方法〟とか〝鉄則〟とかをひけらかして、たまたまそれが当てはまる問題を並べて解いてみせるというインチキ、100％ビーフだけど実はほとんど肉が入ってない、マズクて嘘くさい学食の牛肉カレーみたいなことをやらかすつもりはない。ただ、論理的に文章を読んでいって筆者のイイタイコトをつかまえる、そのことを話そうと思うだけなんだ。つまり、イイタイコトが正確に把握できるなら、君の読解力は十分なわけだし、君はどんな文章だってとりあえず客観的に理解できるわけだし、もちろん入試の現代文の実力は身についてるというわけだ。

さあ、

とにかく、

君の読解力を開発しよう。

◆目　次

第1問　陣内秀信　「東京の空間人類学」　京都女子大……4〔2〕
第2問　加藤周一　「文学の概念」　明治大……7〔34〕
第3問　司馬遼太郎　「文学から見た日本歴史」　上智大……12〔54〕
第4問　李　御寧　「ふろしき文化のポストモダン」　専修大……18〔68〕
第5問　佐藤信夫　「レトリック認識」　中央大……24〔81〕
第6問　原　広司　「空間〈機能から様相へ〉」　センター試験……30〔94〕
第7問　飯坂良明　「現代社会を見る眼」　早稲田大……38〔110〕
第8問　山崎正和　「柔らかい個人主義の誕生」　学習院大……45〔125〕
第9問　中沢新一　「雪片曲線論」　早稲田大……52〔143〕
補　問　柄谷行人　「自然―名詞から動詞へ―」　東京大……59〔163〕

〔　〕内は『解説・解答編』

◆テキスト使用について

1　本文

文章を正しく理解することが最も大切です。**本文の要旨**つまり筆者が君に**イイタイコト**は何かをつかむことに全力を尽くしてください。

2　設問

時間にこだわらず、自分の答えを出してください。単に答え合わせをするのではなく、**解答の論理**つまり**ナゼソウナノ**と考えてみてください。

Lecture 1

ヤサシカッタというのが、たぶん君の感想だろう。少なくとも**第1問**の本文に関して言えば、「文章は短いし、一文一文は難しくないし、筆者の言ってることはだいたいわかるし……」と君は考えるだろう。たしかに本文が短いというのは、集中力の点で楽だし、一文一文がやさしければ、考えこむ必要もない。でもホントにそれだけでいいんだろうか？

やさしく「読めた」と思えたはずの文章が、実は読めてない

なぁんてオソロシイことが、実は起こっていたりして。そこで〈現代文〉という受験科目の範囲で、『読メタ』というのはどういうことなのか、まずそこから話を始めよう。

現代文の読解において君は何をするのか？

ということだ。英語や古文なら、現代の日本語に訳せればいいという、一応の目安があるんだけど、現代文は初めから現代の日本語だ。置き換えるものがないから、目安がない、客観化しづらい、こんな科目やってられないよ。そんなふうに君は短気になって、すでに〈現代文〉をキライになっている可能性もある。なぜって？　現代（モダン）を生きる僕らは、目安の立つことだけに努力し、客観化しやすいものだけを重んじる傾向があるから。現代文をやってるんだから、たまには現代について考えてほしい。英語では欧米の風習、古文では時代の背景を考えるよね。それと同じことだ。

それでは、現代文で読メタという場合の目安とはなんなのだろう。もちろん文章はいつも文の集まりだから、一文一文を正確に読まなくてはならない。

しかも、あとの設問に客観的な態度で答える必要があるから、一文一文を客観的に読まねばならない。

では、そのためにはどうすればいいんだろうか。たとえば、

〈今わたしは受験生。二月に入試をひかえています。春が待ち遠しいなあ。〉

というヘンな文章があったとする。たぶん誰が読んだって、「わたし」のイイタイコトはすぐにわかる。それは一文一文がやさしいだけじゃなく、文と文との関係がわかりやすいからだ。

わたし＝受験生＝入試をひかえている者

今は受験生→二月に入試→春には合格（！）

というような関係は誰でも簡単につかめる。そこで君にこう考えてほしい。これが文章を読めたことの目安だ。

Point

現代文における読解は、
一文一文を正確に客観的に読むことであり、
文と文の関係が解ることだ。

第1問では、意識的に本文のやさしそうな問題をとりあげてみたが、文と文との関係はホントに読みとれただろうか？　最初なので、詳しく説明したいと思う。

それでは、〈文章の読解法〉で書いたように、君がこの**第1問**の本文を書いている筆者の役を演じるつもりで、